

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名：(1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し ③ 設計方法の見直し 】

発生ブロック再利用による縮減

工事名：牧田川船附護岸工事他

概要：今後推進する多自然型護岸工法に適さない従来型の発生護岸ブロックを、植生型護岸として再利用を図る。

効果

○ 資源を有効利用することで、新材のみの植生ブロックに比べコスト縮減が可能となった。

発生資材の運搬費用や仮置場を減らすことができた。

多自然護岸工工事費291百万円を190百万円に縮減(縮減額101百万円、縮減率約34%)



発生護岸ブロック+新材



植生繁茂状況